

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸美容学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|---|-----------|-----------------|--------------------------------|------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 卒業研究Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時間 | 後期 | 教室名 | 講義室、実習室 |
| 担 当 教 員 | 北田覚、各担当教員 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 学習の集大成のひとつとして鍼灸および美容に関連する研究を行い、研究の方法を習得する。また、成果発表を行い、研究のまとめ方や発表の仕方について学ぶ。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 各報告会および卒業論文にて総合評価 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 各研究に必要な文献 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| より多くの文献を読み、より精度の高い研究とすること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 研究を遂行することは、仕事と直結します。研究を遂行し、今後の自身の働き方に役立ててください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 研究の意義を理解する 文献検索の方法を理解し実施できる | プリント 文献 | 自身の興味があるテーマを考えておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | オリエンテーション、研究とは、研究のゴール | | | |
| 第2回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 研究テーマを設定できる | プリント 文献 | 自身の興味があるテーマを考えておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 文献調査および研究テーマの設定 | | | |
| 第3回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 質問紙調査法について理解し、質問紙を作成できる | プリント 文献 | 設定したテーマでの研究方法を考えておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 質問紙調査法とは | | | |
| 第4回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 実験計画法、面接法について理解し、計画を作成できる | プリント 文献 | 設定したテーマでの研究方法を考えておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実験計画法とは、面接法とは | | | |
| 第5回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 計画を発表できる。指摘事項について修正案を考えられる | プリント 文献 | 設定したテーマでの研究方法を考えておく | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 研究計画発表 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---------------------------------------|------------|---|
| 第6回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 計画を基に、研究を実施できる | プリント 文献 | 計画に基づき研究が実施できるよう事前準備をしておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 研究の実施 | | |
| 第7回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 計画を基に、研究を実施できる | プリント 文献 | 計画に基づき研究が実施できるよう事前準備をしておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 研究の実施 | | |
| 第8回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 計画を基に、研究を実施できる | プリント 文献 | 計画に基づき研究が実施できるよう事前準備をしておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 研究の実施 | | |
| 第9回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 計画を基に、研究を実施できる | プリント 文献 | 計画に基づき研究が実施できるよう事前準備をしておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 研究の実施 | | |
| 第10回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 研究結果について発表し、考察での指摘事項について修正案を考えられる。 | プリント 文献 | 発表ができるよう研究状況をまとめておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 中間発表 | | |
| 第11回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 再研究が必要な場合は再研究を実施できる 結果分析と考察をまとめられる | プリント 文献 | 研究結果の分析および考察ができるよう必要な文献をそろえておき、自身の考えを整理しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 再研究の実施および結果からの考察まとめ | | |
| 第12回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 再研究が必要な場合は再研究を実施できる 結果分析と考察をまとめられる | プリント 文献 | 研究結果の分析および考察ができるよう必要な文献をそろえておき、自身の考えを整理しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 再研究の実施および結果からの考察まとめ | | |
| 第13回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 再研究が必要な場合は再研究を実施できる 結果分析と考察をまとめられる | プリント 文献 | 研究結果の分析および考察ができるよう必要な文献をそろえておき、自身の考えを整理しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 再研究の実施および結果からの考察まとめ | | |
| 第14回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 自身の研究について背景から考察まで発表できる | プリント 文献 | 研究発表ができるよう背景から考察までしっかりとまとめておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 研究発表 | | |
| 第15回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 自身の研究について論文にまとめられる | プリント 文献 | 研究内容を論文にまとめられるよう内容を整理しておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 研究論文作成 | | |